

桃の節句を翌日に控えたこの日、歴史博物館で体験講座「いがまんじゅうづくりに挑戦」が行われ、家族連れなど19組59人が参加しました。

いがまんじゅうは、三河地方のひな祭りに欠かせない行事食。赤や黄色に着色したもち米を、栗のいがに見立ててまんじゅうの表面にくっつけたカラフルなお菓子です。

子どもたちがお母さんたちと協力して作った、個性のないがまんじゅう。蒸しあがって試食する姿は、皆とても楽しそうでした。

## 2/3 いがまんじゅう らめて、蒸して はい！できあがり



## 2/3 まだまだ使えます リサイクルフェア

リサイクルプラザで、リサイクルフェアが開催され、入札方式やオークション方式による家具再生品の販売、小物家具・日用品の即売などが行われました。

また、今回は防災グッズの展示や販売などを行う東海地震対策コーナーが設けられ、来場者は、地震に対する関心も高めていました。

## 2/15 古代の神秘 勾玉（まがたま）

なかはざま 中狭間遺跡の上に建つ桜林小学校では、5年生が総合学習の時間に、古代人の生活技術を学んできました。その最後の体験活動として、「親子勾玉づくり教室」が行われました。

勾玉とは、縄文から古墳時代に使われていた神秘的できれいな装身具で、そこには古代人の生活技術が凝縮されています。その美しさに魅了されたのでしょうか、いつしか大人たちが子どもたち以上に夢中になっているようでした。



安城北部小学校で、「総合学習学年交流発表会」が開かれ、3年生から6年生の児童が、それぞれの学年で研究したことを他学年の前で発表しました。

3年生は、「えいご活動の発表」と題して、全編英語による歌と踊りを全員で披露。そして「エブリバディ・レッツ・ダンス！」の声掛けとともに、会場にいた児童、教員、見学に来ていた保護者も一斉に立ち上がり、一緒になって、踊りに参加しました。

## 2/27 エブリバディ レッツ・ダンス！

# わがまち フォト グラフ



## 2/23 競演！愛知県民俗芸能大会

国、県及び市町村指定の無形民俗文化財を、保存、伝承し、理解を深めてもらうために行われている愛知県民俗芸能大会。今年は第1回以来29年ぶりに安城市での開催となり、市民会館に各地の伝統芸能が集まりました。

出演は、安城の三河万歳、桜井町の棒の手、千万町の神楽（額田町）、<sup>せまんじょ</sup>万燈祭（刈谷市）、<sup>かぐら</sup>知立の山車文楽（知立市）。

いずれも先人の育んだ芸をしっかりと伝承した、見事な演技を披露していました。

